

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：水道課

シート No.：94

作成日：2026.4/30

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

幸 喜 基 本 計 画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的 近年、地震や水害などの災害が多く発生しており、今まで以上に水道水の安定供給が重要となってきました。特に、浄配水場から避難所や基幹病院などの重要給水施設に繋がる水道管の耐震性は不十分のため、今後、基幹管耐震化に取り組む必要があります。	事務事業の目標 重要給水施設配水管は、災害時における常総市の指定する避難所として重要な施設及び基幹病院等に給水するための配水管であり、4か所の配水場を起点として重要施設までの過去に布設した管路の内特に耐震性の低い硬質塩化ビニル管を耐震性の高い管種に更新するものとします。 安全な水を供給するために、日々の水質維持に取り組めます。
	施策の目標	3 快適な都市環境の整備を進める		
	施策	4 上水道		
	施策内容	水源確保と水質の適正管理		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市水道ビジョン		
事務事業名		配水管耐震化事業		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R7予算額	R7決算額
活動名・事業名 （対象年）	R7活動・事業内容	指標（単位）	R7目標値	R8目標値		
			R7実績値	R9目標値		
配水管耐震化工事の実施 （R7）	耐震性の低い配水管を耐震性の高い管に更新し、災害時でも安定して水を供給できるようにします。	耐震管路更新延長 （Km）	2.2	—	575,476 千円	286,605 千円
配水管末端部の排泥作業 （R7）	配水管内の水が滞留による濁りや塩素濃度が低下しないよう、日常的に管路末端部で排泥作業をすることで、水質の維持管理を行います。	作業日数（日）	120	—	0 千円	0 千円
浄配水場及び末端給水施設での水質検査 （R7）	浄配水場から離れている末端給水施設で塩素濃度を毎日計測することで、水質が維持されているか確認します。	—	—	—	0 千円	0 千円
水源（地下水取水井）の水位観測 （R7）	茨城県地下水の採取の適正化に関する条例に基づき地下水の保全と適正な採取を行うため、水源（地下水取水井）の水位を常に観測します。	—	—	—	758 千円	758 千円
水道施設の運転状況監視 （R7）	水道施設の運転状況を常時監視し、上水道の安定した給水を図ります。	—	—	—	700 千円	700 千円
水道施設設備の定期点検の実施 （R7）	取水井や浄配水施設の電気機械設備等を定期点検し、緊急性の高い修繕及び設備更新を実施します。	—	—	—	20,800 千円	19,800 千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R7実績値
耐震適合性のある管路による配水を受ける重要施設の数	20施設 （R7）	14施設
水道施設設備の更新	4施設 （R7）	5施設

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
	☐ コスト	☐ 活動	☒ 成果	☐ その他
重要給水施設の配水管耐震化工事は、大きな災害に備える重要事業であることから、業務を丁寧に進めるため、予定工事の一部を翌年度に繰り越し、確実な耐震管路の布設を行います。 定期点検に基づいた設備更新を行うとともに、日々の水質管理を実施し、安全で安心な水を給水することができました。	今後の方向性			
	重要給水施設に繋がる水道管の耐震化完了後、次の目標として老朽管更新を計画し、水道管の更新に合わせた耐震化や漏水リスクの高い管路の更新工事を検討します。 引き続き、水質検査及び水道設備の更新を計画的に実施し、水道水の安定供給に努めます。			